



# いきいきまさきっこ 6月号

松前町立松前幼稚園 令和5年6月9日発行

【友達と遊ぶと楽しいな】 ～遊びの中での育ち合いを大切に～

今年は例年より少し早く梅雨入りしましたが、子どもたちは雨の日もカエルの声を聞いたり、見つけたカタツムリの世話をしたりしてこの時期ならではの生き物との触れ合いを楽しんでいます。また、梅雨の晴れ間には、園庭でかけっこをしたり、砂や泥・水に触れたりしながら、それぞれが好きな遊びを思う存分楽しむ姿が見られています。

5月下旬のある日、パンジーの花びらで色水遊びをする4歳児Aさんの姿がありました。すり鉢に紫の花びらを入れてすりこぎで色をもみだしていきます。そこにきれいな水をそーっと足していくと、紫色のきれいな色水ができました。

「ねえ、見て見て！紫のジュース」と差し出すAさんに、そばにいたBさんが「うわ～、きれい～。ブドウのジュースや。」と言いました。二人で顔を見合わせてニッコリ。「Bもあんなのしたい。」と一緒にブドウのジュース作りが始まりました。すり鉢ですったり指でもみだしたりしたあと水を入れ薄め、透明のプラカップに注いでいきました。おいしそうなブドウのジュースがテーブルの上にたくさん並んだあと、Aさんが「黄色のお花でもしてみよう！」とBさんを誘いました。黄色のパンジーも同じようにしてジュースを作って「これはレモンね。」と言ったBさん。いくつかレモンジュースを2人で作ったあと、Aさんがそのうちの一つの紫と黄色の色水を混ぜ合わせました。「あ!!緑になった！メロン！」「ほんとや！」2人の楽しそうな様子を見て、まわりで遊んでいた子どもたちも「よせて。」と寄ってきて、ジュース作りを一緒に楽しみました。

遊びをすすめていく中で、足す水の量によって濃さが違ったり、違う色同士を混ぜると色が全く違うものに変化したりして、この色水作り一つとっても、いろいろな発見や気づきがありました。

また、遊びの中で友達や先生に共感してもらったり認めてもらったりすることはとても嬉しく、より自信にもなりました。このような積み重ねが自己肯定感へとつながり、友達だいすき・自分もだいすきで、自分も周りの人のことも大切にできる子に育っていくのだと思います。これからも一人一人の気づきや思いを大切にしながら、見守ったり関わったりしていきたいと思っています。



## 6月の保育のねらい

～子どもたちとこんなふうに過ごしたいな～

### 3歳児

- 先生や友達と一緒に過ごす面白さを感じながら、自分の好きな遊びをたっぷり楽しもう。
- ・ 身近な素材や梅雨期ならではの自然に触れながら、したい遊びを繰り返し楽しもう。
- ・ 簡単な身の回りの始末を自分なりにしながら、「自分でできた」喜びを味わおう。

### 4歳児

- 好きな遊びを見つけ、友達と一緒に試して遊ぼう。
- ・ 梅雨期の健康な生活の仕方に関心を持ち、気持ちよく過ごそう。
- ・ 梅雨期ならではの自然事象や動植物に関心を持ち、見たり触れたりして親しもう。

### 5歳児

- 友達と互いの思いや考えを出し合い、関わりを深めよう。
- 繰り返し試したり自分なりに工夫したりしながらじっくり遊ぼう。
- ・ 梅雨期ならではの自然や生き物に関心を持ち、遊びや生活に取り入れよう。
- ・ 自分たちの夏野菜をよく観察したり世話をしたりして、変化や生長に気付こう。